

静岡県立横須賀高等学校

Senior High School

Yokosuka

2021-2022

特別編 <地域連携特集>



連携・協働・グローバル

地域×横高

横高の魅力化推進!

Yokosuka Magazine 特別編 <地域連携特集>

横須賀高校は、授業・部活動・学校行事など、さまざまな場面で地域の皆様との連携・協働に取り組んでいます。地域の魅力的な資源や人材、企業等からの御協力や御支援により、普段の授業や部活動では得られない体験や出会いの機会をたくさんいただいています。そして、地域と連携したさまざまな活動、体験を通して、地域への貢献と地域の活力となる人材の育成をめざしています。

今回、横須賀高校の地域連携・協働の実践について、Yokosuka Magazine特別編としてまとめました。

横須賀高校は、今後も地域とともにさらに前進していきます。



01 地域との連携 I



02 地域との連携 II



03 地域との連携 III



04 地域との連携 IV



05 地域との連携 V



06 地域との連携 VI



07 地域との連携 VII



08 グローカル・ハイスクール



地域との連携 I <横須賀高校郷土芸能部>	01	01
地域との連携 II <授業連携>家庭コース・商業コース・工業コース	02	02
地域との連携 III <大須賀中学との合同防災訓練・地域防災訓練>	04	03
地域との連携 IV <保育体験実習>	05	04
地域との連携 V <1部活動1ボランティア>	06	05
地域との連携 VI <掛川市との連携>	08	06
地域との連携 VII <掛川警察署との連携>	10	07
グローバル・ハイスクール <事業内容・実践状況>	11	08

地域との連携 I

横須賀高校郷土芸能部

令和2年度地域伝統芸能奨励賞 / 東京2020パラリンピック聖火リレー出立式 かけがわ茶エンナーレ 2020+1

ご協力いただいた機関・企業

静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局オリンピック・パラリンピック推進課 静岡県文化プログラム推進委員会
一般財団法人地域伝統芸能活用センター かけがわ茶エンナーレ事務局 掛川市役所文化・スポーツ振興課 三社祭礼囃子保存会
風の会 鷲山あかね様



令和2年3月、私たち郷土芸能部は「地域伝統芸能奨励賞」を受賞しました。高校の部活動の受賞は静岡県初の快挙です。これは紛れもなく、郷土芸能部に対する地域の方々の指導や支援、先輩方の活躍の積み重ねのおかげであると思います。これまでの伝統を守るとともに、これからも「感謝のこころ」を持ち、練習していきたいです。

これまで、年間90回近く行っていた地域イベント出演や施設訪問等は、今年も新型コロナの影響により大幅に制限されました。そのなかでも、いくつかの大きなイベントに参加する機会をいただきました。8月には、「東京2020パラリンピック聖火リレー出立式」に参加し、演技を披露しました。たくさんの皆様に演技を見ていただき、光栄に思います。10月には、掛川市の文化イベント「茶エンナーレ」の舞台づくりのワークショップ「～三社囃子のなか、繰り広げられる物語～「未来へ」」に、三社祭礼囃子保存会や風の会、ダンサーの方たちとともに参加しました。掛川市のPR活動に関ることができ、嬉しかったです。

太鼓や笛などによるお囃子が響き、その様子を温かく、楽しそうな雰囲気でも地域の方々がみつめる。コロナ以前のように、再び地域の方々とたくさん交流し、貢献するため、私たち郷土芸能部は、日々練習を積み重ねています。令和4年、今年こそは街中に明るく調子の良いお囃子が響き、皆さんがお祭りを楽しんで頂けたら嬉しいです。



高野 朱里(2年生)

横須賀高校／郷土芸能部
平成8年の創部。これまでに全国高等学校総合文化祭に12回出場。地域のイベント等への出演は年間90回以上を数える。平成30年「静岡県文化奨励賞」受賞。

地域との連携 II

授業連携

とうもんの里<やさいPOPづくり> 大須賀児童館<赤ちゃんとのふれあい事業>
大須賀図書館交流<えほんの読み聞かせ・えほんづくり・展示POPづくり>
「ちっちゃな文化展」<消毒スプレースタンド作成>

ご協力いただいた機関・企業

NPO 法人とうもんの会 大須賀児童館 大須賀図書館 読み聞かせボランティア山本様 日本茶インストラクターの三輪悦夫先生 横須賀倶楽部



3年生 <家庭コース>

課題研究の授業で、NPO法人「とうもんの会」と交流を行いました。地元農業の魅力紹介、野菜のポップ作り、農業活性化のためのワークショップなどを通して野菜や地域について知ることができました。ポップは「とうもんの里」の野菜売り場に掲示していただき、職員の方やお客様には高校生らしいアイデアを喜んでもらえました。地域活性化のため、私たちができることに今後も取り組んでいきたいです。



鈴木 萌那(3年生)



3年生 <商業コース>

日本茶インストラクターの三輪先生をお招きし、お茶の淹れ方講座を受講しました。お茶にも種類ごとの特徴があり、淹れ方や蒸らす時間に差があることも知りました。水道水や美味しい水など、使う水によってお茶の味が変わることが印象的で、味の差にも驚きました。また、水道水でも、沸騰のさせ方などを工夫すれば美味しくなると聞き、驚きました。今後は、お茶の淹れ方を意識し、お茶文化を広めていきたいです。



山崎 涼雅(3年生)





2年生 <家庭コース>

大須賀図書館様とは、絵本づくりや図書館のポップ作りなどで交流をしています。保育の授業では、大須賀図書館の澤島様、読み聞かせボランティアの山本様に絵本の読み方を教えていただきました。読み聞かせは簡単そうですが、実際に読むと噛んでしまったり、まっすぐ本が持てなかったりして難しかったです。子どもたちに読む機会があったら、今回の経験を生かし、楽しんでもらえるように読みたいです。



西村 唯央(2年生)



2年生 <家庭コース>

今年度はコロナ禍の影響により、赤ちゃんに触れ合うことができませんでしたが、児童館の先生方が講話をしてくださいました。私には甥っ子がいるため、保育に関するお話では共感することが多く、実感を伴って理解することができました。また、子どもを育てるのはとても大変だと感じ、産み育ててくれた母に感謝したいと思いました。今回の貴重な経験や感じたことを自分の将来に生かしていきたいです。



石田 大和(2年生)

3年生 <工業コース>

遠州横須賀倶楽部様の依頼で、脚踏み式の木製アルコールスタンドを製作しました。図面と材料は先生が用意し、僕達はドリルで下穴を明け、電動ドライバーでネジを留め、やすりで面取り作業をしました。「ちっちゃな文化展」までに、予定していた8台を完成させることが出来たのは、皆を引っ張った浅原君の活躍があったからだと思います。横須賀高校生として、地域の皆様の役に立てたことを嬉しく思います。



三井 嶺音(3年生)

地域との連携 III

大須賀中学との合同防災訓練・地域防災訓練

高校生などの若い世代の力が必要となる場面として、地震や台風などの自然災害発生時が考えられます。学校周辺の横須賀地域の特徴として、昼間人口における高齢者の割合が比較的高いことがあげられます。そのため、横須賀高校では、自分たちの安心・安全を守ることはもちろんですが、それだけではなく、地域の安心・安全を守るための活動に取り組んでいます。自然災害発生時、学校は地域の避難所となります。その時に、さまざまな形で地域の避難者を支援できるよう、大須賀中学校の生徒と合同で防災訓練に取り組んでいます。

ご協力いただいた機関

掛川市立大須賀中学校 掛川市役所危機管理課 横須賀地区の地域のみなさま



合同防災訓練の事前研修に参加し、自分の地域のどのような場所が危険で、どのような危険があるのかなどを、生徒同士で話し合うことができました。災害発生時に私たちができることは何かについても、改めて考えることができました。災害が起こってから考えるのでは全く対応できないと思うので、あらかじめ危険な箇所の把握や、災害時の適切な行動について考えておく事の大切さを認識することができたので、とても良かったです。



服部 奈月(3年生)



訓練当日は、体育館での全体説明のあと、私たちのグループは学校周辺からの避難ルートの確認を中学生と一緒に行いました。避難場所であるグラウンドへは、勾配がゆるやかなルートや、かなり急な階段のルートなどがあることを確認しました。災害時には、地域の方々、特に高齢者の方に安全、迅速に避難してもらうためにも、高校生と中学生が協力し、率先して誘導や声掛けをして、地域の安全に貢献したいと思いました。



赤堀 ひかる(3年生)



12月5日の地域防災訓練では、本校体育館に備えてある、掛川市の避難所グッズである「簡易ベッド」と「パーティション」について、地域の方々と部員と一緒に、設置方法や保管場所などの確認を行いました。いつ、どのような災害が起こるか分からないからこそ、高校生や中学生を中心に、地域の方々との連携をとりながら、丁寧に、そしてわかりやすい活動を目指していきたいです。



永谷 浩風(2年生)

地域との連携 **IV**

保育体験実習

1年生4クラスの生徒が、令和3年4月に開園したよこすかめく森こども園にて、保育体験実習に取り組みました。

ご協力いただいた機関

社会福祉法人大須賀苑よこすかめく森こども園



最初は、自分より小さい子どもとどう接すればいいかわからなくて緊張しましたが、園児の方から来てくれて、すごく嬉しかったです。近くの公園に散歩に行く途中で色々な話をしました。手をつないで一緒に歩いた時、つないだ手が思ったよりも小さくて、とても驚きました。公園に着いてからは、坂を滑ったり、追いかっこをしたり、ドングリを集めたりしました。懐かしさを感じると共に自分の成長を感じ、温かい気持ちになれました。



鈴木 心結(1年生)



僕はよこすか幼稚園に通っていたので、パンダ組やリス組など、聞き覚えのある組の名前を聞いて、懐かしい気持ちになりました。子どもたちはみんな個性豊かで、どの子も笑顔が絶えず、元気いっぱい楽しそうでした。子ども達が幸せに生活できているのは、いつも子ども達の近くで暖かく見守ってしてくれる保育士の先生がいるからだと思いました。今回保育体験実習に行き、本当に良い思い出ができました。ありがとうございました。



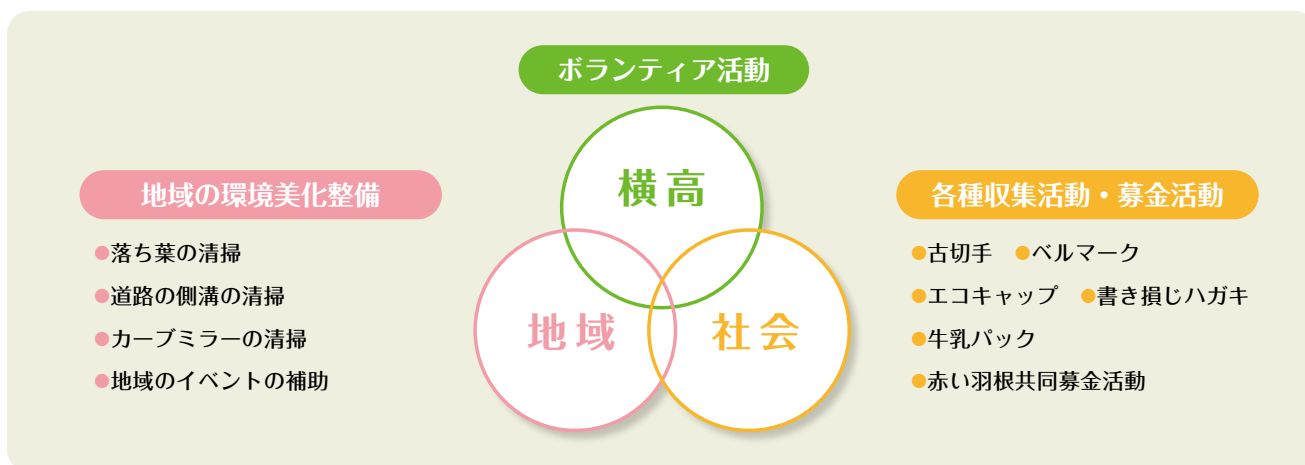
中村 雄太(1年生)

地域との連携 V

1部活動1ボランティア

横須賀高校では、部活動単位で地域貢献活動に取り組んでいます。以前から、郷土芸能部や地域交流活動部が、地域のイベントの運営や補助係等として、活動を継続してきています。「高校生の力はすごい」「高校生に居てもらわなくてはイベントが成り立たない」というありがたいお言葉を頂くことが多いなか、学校としても「もっと地域のために活動ができないだろうか」と考えて取り組みをはじめたのが「1部活動1ボランティア」です。

学校のある横須賀地域の方々の役に立つ活動を生徒達が考え、計画、準備、実践をしています。新型コロナウイルスの影響により、直接、人と関わる活動が難しいなかではありますが、その状況下でも工夫しながら活動の場面を作り出しています。



部活動名	活動内容	参加人数
● 弓道	落葉清掃	17
● 剣道	落葉清掃	4
● 男子テニス	北方道路側溝清掃	11
● 女子テニス	カーブミラー清掃	9
● サッカー	カーブミラー清掃、弁財天の森「植樹祭」	11
● 卓球	カーブミラー清掃・町内清掃活動	13
● 女子バスケットボール	赤い羽根共同募金活動（検討中）	3
● 男子バスケットボール	海岸清掃	15
● 女子バレーボール	清掃活動	10
● 野球	弁財天の森「植樹祭」	27
● 陸上競技	北方道路側溝清掃	22
● 郷土芸能	ちっちゃな文化展お手伝い	15
● サイエンスラボ	カーブミラー清掃	5
● 書道	かけがわ茶エンナーレ俳句揮毫	5
● 吹奏楽	落葉清掃	12
● 生活文化	落葉清掃（こども園お手伝い検討中）	13
● 美術	落葉清掃	21
● パソコン	こども園お手伝い検討中	18
● 地域交流活動	各種収集活動・弁財天の森「植樹祭」	9

ご協力いただいた機関・企業

静岡県立掛川特別支援学校 掛川市社会福祉協議会 中部電力株式会社 一般財団法人日本菌根菌財団



卓球部

清掃活動を始める前は、どのくらいたくさんのゴミがあるのかと考えていました。しかし学校周辺へ出てみると、ゴミは全然ありませんでした。これは地域住民の方々が町を綺麗にしようとゴミを捨てなかつたり、拾ったりしているからだと感じました。活動中、寒い中でしたが数名の地域の方と挨拶を交わし、交流することができました。これからも、町にゴミが落ちていたら積極的に拾いたいと思います。



山下 修弥(2年生)

地域交流活動部



今回は牛乳パックの回収を行いました。全校生徒に協力を呼びかけ、520枚を回収することができました。パックは、1つ1つ洗い、開き、乾かした後、掛川特別支援学校へ寄付しました。特別支援学校では、牛乳パックを再生し、葉書やカレンダーを作成して、販売しているそうです。対面でボランティアを行うことが難しい今だからこそ、私たちにできることを考えて、地域への貢献活動を続けていきたいです。



青野 有希(2年生)



野球部

弁財天の森植樹祭にボランティアとして参加させていただきました。最初はなぜ苗を植えるのか？と疑問に思いましたが、植樹祭に参加をして苗を植えることの大切さを知ることができました。苗を植えることで、津波や高潮の勢いを弱め、住宅などへの被害を軽減することができます。この活動を通して地域の方々との交流をして新しい知識、経験を得ることができました。これからもこのような活動を通して、地域の方々と協力していきたいです。



大岡 恵士(2年生)

地域との連携 VI

掛川市との連携

掛川市長との高校生会議 全国報徳サミット かけがわまちづくりミーティング2021
掛川市議会だより 王将戦ポスター題字

ご協力いただいた機関

掛川市役所企画政策課 掛川市役所文化・スポーツ振興課 掛川市役所生涯学習推進課 掛川市議会



高校生会議

掛川市長と市内4校の高校生が「掛川市の未来について」というテーマでオンライン会議を行いました。会議では、掛川市により一層インターネットを普及させ、「学校の教科書やノートの子電子化」、「病院やタクシーなどの予約」等、デジタル化の推進についてや、掛川市の魅力の発信方法についてなどの案が出されました。今後、掛川市のICT化が進み、市民の皆さんがより暮らしやすくなればよいなと思いました。



加藤 有紀(3年生)



全国報徳サミット

掛川市がホストとなり、全国17か所の市町をオンラインで結んで行われ、市内の高校生、大学生とともに参加しました。SDGsや報徳思想などの考え方を、各地域の特色と関連付けて活用、実践している意見が多く、学ぶことが多くありました。地方の市町が抱えている課題には共通点も多く、今後も、今回のようなICTを活用した会議等を行い、課題の解決や地域の魅力化の活動に取り組んでいきたいと思いました。



金原 陽世(3年生)



かがわまちづくりミーティング 2021

私はファシリテーターの補助として参加しました。約60人の参加者が、グループに分かれて「掛川市のこれから」をテーマに話し合い、意見発表を行いました。身近な地域や、市全体の未来について積極的な意見がたくさん出されました。今の掛川市があるのは、今回のように多くの方々の熱い思いがあったからだと、改めて思いました。地域や市のために、もっと役に立ちたいと強く思いました。



金原 花林(3年生)



本校書道部の部員の作品です。
左「市議会だより」中「王将戦」は2年生稲垣百恵さん、右「市議会だより」は3年生森歩さんの作品です。

地域との連携 VII

掛川警察署との連携

防犯ボイスメッセージ選定会議・メッセージ収録 ボイスパトロール出発式
防犯ボイスパトロール感謝状贈呈式

ご協力いただいた機関

掛川警察署 生活安全課 地域課 若手署員のみなさま



7月9日、掛川警察署の方々と防犯パトロールの会議を行いました。夏休みに高校生が気をつけることや地域の方々に伝えたいこと等を、交通委員と有志の数名で話し合いました。そして、どのような言葉で伝えれば若者の心に響くのかを考えました。最初は自分の意見を言うのはとても恥ずかしかったですが、警察署の方々が親身になって考えてくれたので、最後はみんな自ら発表することが出来ました。とても貴重な経験が出来ました。



小川 暖羽(3年生)



先生から掛川警察署の方々と交流する機会があるというお話を伺い、私たちは交通委員と共に防犯ボイスパトロール活動に取り組みました。警察の方々と会議を行い、そこで出た意見をもとに、地域住民へ防犯等と呼び掛けるメッセージを録音しました。7月19日には盛大な出発式が行われ、夏休み期間中メッセージをパトカーで流し、地域の方々に犯罪防止と呼びかけ、地域の皆様の安心で安全な生活のために、貢献することができました。



小川 心暖(3年生)

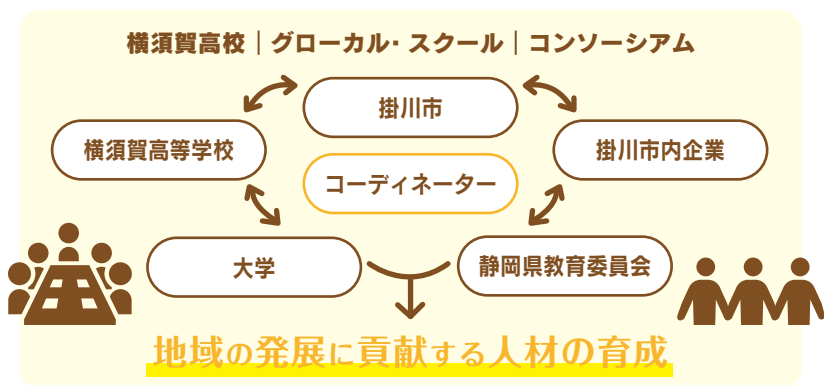
グローバル・ハイスクール

横須賀高校は、令和3年度静岡県教育委員会「新時代を拓く高校教育推進事業」における「オンリーワン・ハイスクール（普通科改革）～グローバル・ハイスクール」実施校として指定を受けました。

地域連携による地域課題解決の探究に取り組みます

地域企業と連携した先端施設の活用及び就業体験の実施等授業の充実と単位認定の研究

- キャリアコーディネーター等を活用した外部機関との連携
- 地域企業の人材や設備等を活用したキャリア教育に関する学校設定科目の研究
- 長期インターンシップの運営方法やカリキュラムに関する研究



【令和3年度の取り組み】

- 7月 ▶ グローバルハイスクール委員会設置
- 10月 ▶ 掛川市内企業説明会実施
- 12月 ▶ 県外先進校視察(三重県・岡山県)
掛川市内企業見学実施(2年生)
- 1月 ▶ 職員研修実施
- 2月 ▶ インターンシップ(コロナ禍により中止)
職場体験実施状況調査
- 3月 ▶ 掛川市内企業見学(予定)(1年生)

3年間のロードマップ 構想・検証・検討・改善・実践

1年目

本事業に適したコーディネーターの選定を行うとともに、地域連携の核となるコンソーシアムを設立する。コンソーシアムの運営を通して、地域と学校が連携できる多彩な仕組みを構築する。

コンソーシアムとの協働により、先進校の視察や調査、先端施設・企業の見学、企業人材による研修会の開催などを実施するとともに、多彩な企業と連携した就業体験等の研究を進める。

コーディネーター	コンソーシアム
情報収集	調査・視察
先端施設	企業見学

2年目

専門研究機関と連携し、「新しい形での就業体験」について、指導助言を得ながら、「総合的な探究の時間」の充実に向けて、キャリア教育との関連性や位置づけを考える。また、「単位認定」や「教育課程」に関する情報収集を進め、校内で情報を共有する。

コンソーシアムを中心に、より多角的で充実した内容の「新しい形での就業体験」を実施する。就業体験実施後には、コンソーシアムにおいて、成果をまとめるとともに、課題を検証し、次年度の就業体験をよりよいものにできるよう、体験先や活動内容を改善する。

キャリア教育	総合的な探究
検証	改善
就業体験	企業見学

3年目

3年間に及ぶ「地域と連携した新しい形での就業体験」に取り組んだ3年生は、自立的進路選択能力が身に付き、地域の魅力や地域の企業を熟知した「グローバルな人材」として、卒業後も地域に貢献できる存在となる。

2学年において、前年度の課題が改善された「新しい形での就業体験」を実施する。実施後には受入れ企業担当者を招聘し、「就業体験報告会」を校内で開催し、就業体験の成果等を共有する。

3学年においては、「総合的な探究の時間」のキャリア教育として、1年生・2年生に向けた「キャリア報告会」を実施する。

教育課程における「就業体験」の単位認定について検討を行う。

横須賀高校の魅力化の推進	
グローバルな人材の育成	
新しい形での就業体験	
単位認定	情報発信
キャリア報告会	地域貢献

グローバル・ハイスクール ———— 令和3年度の取り組み

県外視察・研修・インターンシップ

<高校魅力化>に先進的に取り組んでいる県外の高校を視察しました。「総合的な探究」や「インターンシップ」について研修を行い、理解を深めました。2年生において「インターンシップ」を企画しました。

ご協力いただいた機関・企業

三重県立紀南高等学校 岡山県立矢掛高等学校 NPO法人しずおか共育ネット 一般社団法人アスバシ 静岡県教育委員会



三重県立紀南高等学校

昭和37年開校の全日制普通科・単位制高校。1学年2クラスで生徒総数176名。生徒の約6割は地元である御浜町と紀宝町から、約3割は熊野市から通学している。全国で2番目(3校目)のコミュニティ・スクールとして、地域や社会に主体的に参画できる人材を育てるため、「就労体験」「地域産業とみかん」「東紀州学」(来年度から「地域創造学」に変更)などの科目を設定している。)今年度のインターンシップは2年生48名中12名が選択している。実習は毎週金曜日の終日、年20回程度(前期・後期)で実施している。



岡山県立矢掛高等学校

明治35年開校した旧制岡山県立矢掛中学校を前身とし、令和4年に創立120周年を迎える。平成21年に普通科・地域ビジネス科の学年制に移行。現在、普通科は定員80、地域ビジネス科は定員40である。普通科は3クラス展開で、進学を目指す探求コース(文・理)と、多様な進路の総合コースに分かれている。学校設定教科「やかげ学」は、生徒が学校を出て、地域の小学校や高齢者施設等で長期間に渡り活動し、社会性やコミュニケーション能力を身に付け成長を促す取り組みで、町と高校が連携して平成21年度に導入した。



職員研修

グローバルハイスクールに関する職員研修では、NPO法人「しずおか共育ネット」の井上様、一般社団法人「アスバシ」の毛受様にお越しいただき、地域と連携したインターンシップや探究学習についてのお話をいただきました。県内外の先進的な取り組み事例を紹介していただく中で、地元企業との関わり方、高校生の今後のキャリアへ繋がるような活動など、グローバルハイスクールに向けた先進的な取り組みについて学ぶことができました。

横須賀高校の インターンシップ

今から20年前から取組を開始しました。現在でも、普通科高校において学年生徒全員によるインターンシップを実施している学校は少ない状況ですが、より充実した進路指導の実現を目指し、受け入れ先事業所の確保に向け、文字通り「ゼロから」インターンシップがスタートしました。以来20年にわたり、地域住民の皆様や地元企業の支援を受け、毎年70カ所程の事業所にご協力をいただき、この事業を継続しています。横須賀高校生徒の進路指導、進路実現に欠くことのできない大切な取り組みの1つです。3日間という、ごく限られた期間ではありますが、「懸命に働く大人たち」の姿に触れながら、仕事に接する機会、環境を与えていただき、確実に「成長」する生徒の姿が、そこにはあります。

令和3年度の インターンシップ

令和4年2月1日～3日の3日間の予定で、1学期から事前準備に取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度は「中止」となったため、2年ぶりの実施をめざしていました。直前に、第6波による爆発的な感染拡大の状況となったため、やむなく令和3年度のインターンシップも「中止」の判断をしました。

グローバル・ハイスクール ———— 令和3年度の取り組み

地域探究・企業見学

掛川市(企画政策課・産業労働政策課)と連携し、「地域探究」講話と、「企業見学」を実施しました。「企業見学」では、2年生125名が市内にある魅力的、先進的な企業8社を見学しました。

ご協力いただいた機関・企業

掛川市役所企画政策課 掛川市役所産業労働政策課 トキコシステムソリューションズ株式会社 松下金属工業株式会社
有限会社戸塚綜業 山陽色素株式会社 株式会社山下工業研究所 興国インテック株式会社 藤森工業株式会社 倉敷繊維加工株式会社



地域探究

「地域探究」として、掛川市役所企画政策課、産業労働政策課による「掛川市の課題や魅力」、「掛川市の魅力的な企業」についての講話をお願いしました。自分たちの地域について、より理解が深まるとともに、魅力的な企業の存在を知ることができ、地域や地元への関心がさらに高まりました。就職希望の生徒の9割が「地元企業」へ就職する本校にとって、「地域を知る」ことがいかに大切なのかを感じる機会となりました。



株式会社山下工業研究所

地元にある企業で名前は知っていましたが、実際に見学をして、予想以上に工場が広くて驚きました。工場なので男性中心の職場だと思っていましたが、女性社員も多く、それぞれの方が自分の担当の機械を操作し、手際よく作業をしている様子に興味を持ちました。身近なものがどのように作られているかを知ることができ、楽しく見学することができました。



松下 一夏(2年生)



山陽色素株式会社

たくさんの種類の色を作っていて、量や色の組み合わせなどを少し変えただけで、濃くなったり薄くなったり、少し明るめの色になったり暗めの色になったりと変化しているのが、見てとても面白かったです。色々な建物の中を見学して、床にたくさんの色が付着しているのを見て、身の周りで使われている色を作ることが、いかに大変な作業であるかが分かりました。



古川 芽生(2年生)

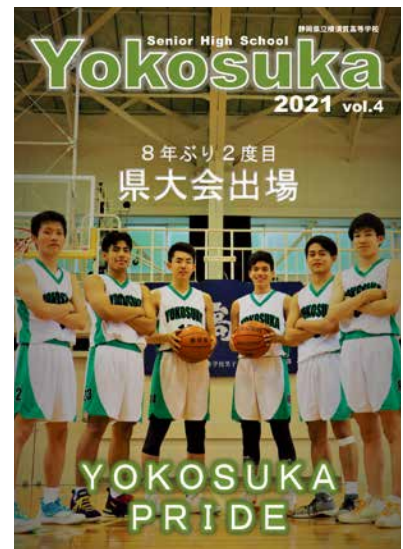
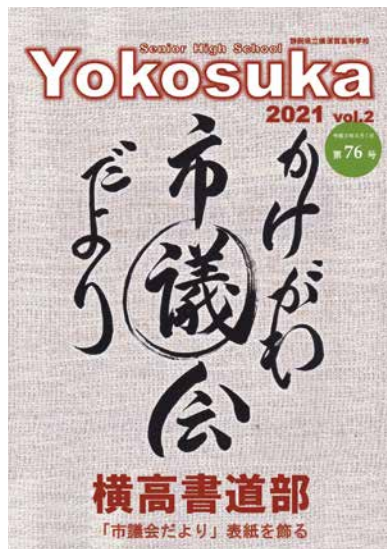


興国インテック株式会社

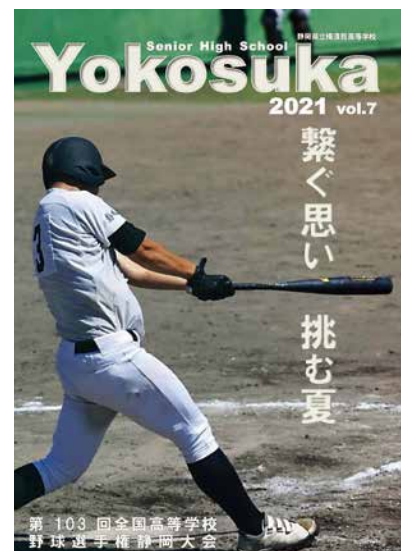
医療用のゴム製品をつくっているため、虫や埃などを入れないように閉め切った中で、臭いが強いゴムの加工作業をしている社員の方々は凄いなと思いました。そして社員の方が不良品を見分ける際のスピードがとても速くて驚きました。その他にも機械で行っている作業の細かさや効率的な作業のために設備が工夫されているところが素晴らしいと思いました。



橋本 信介(2年生)



「未見の我」 まだ見ぬ自分と出会う場所



横須賀高校ホームページ

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/yokosuka-h/home.nsf>

